

平成30年 3 月期経営状況概要

項目	予算額 (繰越金)	当月執行額	執行累計額	執行率	執行残高	執行+支出負担	対予算比
8. 水道事業収益	2,605,278	469,697	2,620,552	100.6%	△ 15,274		
1. 営業収益	2,271,430	179,527	2,286,015	100.6%	△ 14,585		
1. 給水収益	2,243,160	178,873	2,257,200	100.6%	△ 14,040		
2. 受託工事収益							
3. その他営業収益	28,270	654	28,815	101.9%	△ 545		
2. 営業外収益	333,352	290,038	334,073	100.2%	△ 721		
3. 特別利益	496	132	464	93.5%	32		
9. 水道事業費用	2,587,666	1,349,558	2,384,729	92.2%	202,937	2,384,729	92.2%
1. 営業費用	2,284,871	1,258,103	2,134,484	93.4%	150,387	2,134,484	93.4%
1. 原水及び浄水費	483,742	56,894	389,139	80.4%	94,603	389,139	80.4%
2. 配水費	287,204	48,970	269,988	94.0%	17,216	269,988	94.0%
3. 給水費	114,923	9,976	88,535	77.0%	26,388	88,535	77.0%
4. 受託工事費							
5. 業務費	159,548	26,849	158,682	99.5%	866	158,682	99.5%
6. 総係費	162,521	38,749	151,475	93.2%	11,046	151,475	93.2%
8. 減価償却費	1,030,112	1,030,109	1,030,109	100.0%	3	1,030,109	100.0%
9. 資産減耗費	46,821	46,556	46,556	99.4%	265	46,556	99.4%
10. その他営業費用							
2. 営業外費用	280,990	91,400	249,897	88.9%	31,093	249,897	88.9%
3. 特別損失	1,805	55	347	19.2%	1,458	347	19.2%
4. 予備費	20,000				20,000		
10. 資本的収入 (繰越含む)	1,323,744	953,613	967,359	73.1%	356,385		
1. 企業債	710,200	546,900	546,900	77.0%	163,300		
2. 負担金・補償金	268,147	141,261	143,548	53.5%	124,599		
3. 補助金	92,761	88,153	88,153	95.0%	4,608		
4. 出資金	242,214	176,014	176,014	72.7%	66,200		
5. 加入金	10,422	1,285	12,744	122.3%	△ 2,322		
9. その他資本的収入							
11. 資本的支出 (繰越含む)	2,498,191	1,222,057	2,042,350	81.8%	455,841	2,418,876	96.8%
1. 建設改良費	1,815,943	1,023,204	1,363,604	75.1%	452,339	1,740,129	95.8%
1. 取水施設整備費	668,330	404,667	404,732	60.6%	263,598	658,635	98.5%
2. 導水施設整備費	17,820	17,794	17,794	99.9%	26	17,794	99.9%
3. 浄水施設整備費	173,018	157,669	172,163	99.5%	855	172,163	99.5%
4. 送水施設整備費	82,703		80,408	97.2%	2,295	80,408	97.2%
5. 配給水施設整備費	870,292	440,321	685,753	78.8%	184,539	808,377	92.9%
6. 消防設備整備費	3,780	2,753	2,753	72.8%	1,027	2,753	72.8%
2. 企業償還金	682,248	198,853	678,746	99.5%	3,502	678,746	99.5%
12. たな卸し資産購入限度額	47,324	1,872	18,878	39.9%	28,446	18,878	39.9%
①有収水量	7,914,100	618,543	7,873,026	99.5%	41,074		
②供給単価	283.44	289.18	286.70	101.2%	△ 3.26		
③給水原価	326.74	2,181.75	302.85	92.7%	23.89		
人件費	226,954	14,049	210,554	92.8%	16,400		
1. 収益的収支	185,354	11,421	169,667	91.5%	15,687		
1. 職員給与費	184,104	11,296	168,499	91.5%	15,605		
2. 特別職 (報酬、賃金等)	1,250	125	1,168	93.4%	82		
2. 資本的収支	41,600	2,628	40,887	98.3%	713		
* 職員給与費	225,704	13,925	209,386	92.8%	16,318		
職員給与費対給水収益							
1. 損益勘定職員	8.2%	6.3%	7.5%				
2. 全職員	10.1%	7.8%	9.3%				

合計残高試算表	A期首	B当月	C=B-A	備考
A. 固定資産	44,943,525	45,787,518	843,992	
*減価償却累計額	18,794,440	19,449,164	654,723	
B. 流動資産	3,292,328	3,098,776	△ 193,552	
1. 現金預金	2,594,861	2,770,917	176,056	
2. 未収金	576,010	237,392	△ 338,617	
3. 貸倒引当金	△ 500	△ 5,310	△ 4,810	
4. 貯蔵品	33,572	32,638	△ 934	
5. 前払費用・前払金	87,886	57,830	△ 30,056	工事前払金等
6. その他				仮払消費税
D. 水道事業費用		2,298,253	2,298,253	
1. 営業費用		2,071,548	2,071,548	
2. 営業外費用		226,384	226,384	
3. 特別損失		321	321	
1. 借方合計=A+B+D	51,805,091	54,942,553	3,137,462	
E. 固定負債	11,808,703	12,334,753	526,050	
1. 企業債	11,541,269	12,088,169	546,900	
2. 引当金	267,434	246,584	△ 20,850	
F. 流動負債	1,060,868	213,162	△ 847,706	
1. 企業債	678,746		△ 678,746	H29年度償還元金
2. 未払金	219,482	119,073	△ 100,409	
3. 前受金	148,062	80,657	△ 67,405	
4. 引当金	14,186	13,054	△ 1,132	・賞与引当金
5. 資本的収入整理勘定				
6. その他	392	379	△ 13	うち仮受消費税
G. 繰延収益	9,746,416	9,920,201	173,784	
1. 長期前受金	9,746,416	9,920,201	173,784	・償却資産に係る財源のうち、補助金、補償金・負担金・受贈財産等
* " 収益化累計額	3,569,237	3,758,006	188,769	
H. 資本金	10,178,427	10,547,278	368,851	
1. 自己資本金	10,178,427	10,547,278	368,851	・固有、繰入 (出資)、組入
2. 借入資本金				=企業債元金→負債勘定へ
J. 剰余金	215,737	22,900	△ 192,837	
1. 資本剰余金	22,900	22,900		・非償却資産にかかるもの
2. 利益剰余金	192,837		△ 192,837	
K. 水道事業収益		2,449,787	2,449,787	
1. 営業収益		2,118,815	2,118,815	
2. 営業外収益		330,524	330,524	
3. 特別利益		448	448	
2. 貸方合計=E+F+G+J+K	51,805,091	54,942,553	3,137,462	
a. 供給単価 (円、銭)	265.46	=給水収益÷有収水量		
b. 給水原価 (円、銭)		原価算入額は受託工事収益、材料売却原価、特別損失を除く		
①実数値	260.84	=原価算入額÷有収水量		当月予算
②シミュレーション		原価算入額に減価償却費の「経過月数/12」を加えたもの		
c. 施設利用率	74.12%	=一日平均配水量÷施設能力		
d. 有収率	85.36%	=有収水量÷配水量		
e. 流動比率	1451.23%	=流動資産÷流動負債		
f. 現金預金比率	1299.91%	=現金預金÷流動負債		

*供給単価、給水原価は損益ベースであること

平成30年3月期 業務実績報告書(水道管理課)

一般事項

1 料金調定関係

項目	単位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 計画累計	D 前年度同月累計	E 対計画比較	F 対前年比較
1 調定件数	件	30,220	365,729	369,500	367,085	△3,771	△1,356
2 調定量	m ³	614,288	7,821,695	7,863,000	7,825,471	△41,305	△3,776
3 調定料金(税抜)	円	165,620,589	2,089,997,235	2,077,000,000	2,096,975,611	12,997,235	△6,978,376
4 口振加入件数	件	24,942	301,979	-	304,133	-	△2,154

2 給水業務関係

項目	単位	A 当 月 期	B 当年度累計	C 前年度同月累計	D 対前年比較(B-C)
5 給水人口	人	81,720	-	81,673	47
6 給水件数	件	30,267	-	30,265	2
7 開栓処理件数	件	587	3,207	3,272	△65
8 閉栓処理件数	件	419	3,215	3,233	△18
9 給水工事設計審査	件	41	649	703	△54
10 給水工事竣工検査	件	109	898	932	△34
11 経年メーター交換	件	163	4,231	4,395	△164
12 メーター口径変更	件	5	59	57	2
13 月末停止件数	件	0	21	84	△63

3 料金徴収関係

項目	A 当 月 末 未 収 額	B 収 納 率	C 前 年 同 期 未 収 額	D 収 納 率
14 当年度分	189,134,219 円	91.62 %	183,525,928 円	91.90 %
15 過年度分	4,466,487 円	97.62 %	4,260,443 円	97.80 %
16 全 体 (計)	193,600,706 円	-	187,786,371 円	-

4 給水装置工事指定業者(増減なし)

迫町	登米町	中田町	豊里町	米山町	南方町	津山町	東和町	石越町	市内計	市外計	合計
18	8	17	12	13	9	8	14	7	106	121	227

5 入札・契約

(左:当月 右:累計)

項目	累計(落札件数/入札件数)		工事請負		設計業務		業務委託		物品購入		その他	
入札件数	0/0	93/100	0/0	56/63	0/0	16/16	0/0	6/6	0/0	15/15	0/0	0/0
契約締結	一般	0	20	0	20	0	0	0	0	0	0	0
	指名	0	53	0	25	0	16	0	1	0	11	0
	随契	0	20	0	11	0	0	0	5	0	4	0
合計	0	93	0	56	0	16	0	6	0	15	0	0

※入札中止 当月 0件:累計3件 / 入札不調 当月 0件:累計7件 / 入札取消 当月 0件:累計0件 / 未契約 0件

6 竣工等検査

検査種類	累 計	当 月 件 数	内 容	
竣工検査	53	28	工事	その他1件出来高検査あり
中間検査	29	1	工事	
合 計	82	29		

7 主な行事・会議

会 議 名	日 時	内 容
部長等連絡調整会議	13日	3月 事業打合せ等
事業調整会議	13日	第12回 部長等連絡調整会議復命、日程調整
安全衛生委員会	13日	第12回 行事計画、日程調整等
水道事業連絡会議	14日	第12回 業務報告、日程確認、業務打合せ等
水道ブースター会議	13日	3月期 平成30年度登米市水道事業会計予算について
給水拠点設置訓練	20日	3月期 登米総合支所
経営分析会議	20日	2月分 各種経営分析等
例月出納検査	23日	2月分 例月出納検査
指名委員会	一日	
入札会	一日	
緊急メールの発出	一日	漏水12、破損3、取停5、水質4

特記事項

1. 3月期の経営状況

(1) 予算執行状況等について

ア 収益的収支

当期の給水収益は178,873千円(税込)で、前月期に比べて1,953千円の減で、予算執行率(累計)は100.6%(前年度99.8%)、対前年同月比(税抜)では8,553千円の減となっています。営業収益は手数料収益654千円を含む179,527千円、営業外収益は事務手数料3,800千円、他会計繰出金19,075千円、長期前受金戻入244,328千円、退職給付引当金戻入益20,850千円を含む290,038千円となりました。

当期の営業費用は減価償却費1,030,109千円、固定資産除却費46,232千円を含む1,258,103千円を執行し、累計額は2,134,484千円、予算執行率(累計)は93.4%(前年度93.6%)となりました。営業外費用では企業債利息66,224千円、特別損失では放射性物質検査料55千円を執行しました。

イ 資本的収支

当期の収入は、企業債546,900千円、国庫補助金80,683千円、補償金36,757千円、出資金144,214千円を含む812,592千円を執行し、執行率(累計)は75.4%(前年度95.4%)でした。

支出は、建設改良費が取水施設整備費に309,617千円、導水施設整備費に17,794千円、浄水施設機器整備費に157,669千円、配給水施設工事請負費に294,175千円、その他事務費等を含め818,262千円となり、執行率(累計)は75.7%(前年度85.4%)でした。企業債償還金は198,853千円を執行しております。

ウ たな卸し資産購入限度額

当期は、薬品に1,872千円を執行しました。

2. 今月の出来事

(1) 登米市上水道事業運営審議会を開催

平成29年度第2回登米市上水道事業運営審議会を3月19日(月)に開催しました。「平成30年度登米市水道事業会計予算」と「登米市水道事業経営戦略」について説明を行い、審議いただきました。両案件とも市長からの諮問事項となっており「妥当と判断するが、今後とも丁寧な説明に努め、計画に沿って健全な事業運営を遅滞なく進めること」との留意事項を付した答申をいただきました。



審議会の様子

(2) 水道モニター会議を開催



会議の様子

3月16日(金)に水道モニター会議を開催しました。会議では1月に実施したアンケート結果の説明を行いました。今回はモニターさんの提案もあり、年代別に調査を行なったため、年代ごとの傾向がうかがえる興味深い結果となりました。なお、現在のモニターさんは平成29年度末で任期満了となるため、今回が最後の会議となり、2年間の感想をお一人ずつ述べていただきました。「水道の成り立ちが分かり楽しかった」というような感想が多く、また、モニター活動への提案等もいただきました。水道事業所では、いただいたご意見を今後の活動へ活かし、利用者の皆様に水道への理解を更に深めていただけるよう努めます。

(3) 貯蔵品実地たな卸実査

3月23日(金)に平成29年度貯蔵品実地たな卸実査が行なわれました。監査委員2名が来庁し、登米市管工事業協同組合の資材庫等に保管してある貯蔵品について、保管状況の確認や数量と関係書類との突合等が行われ、貯蔵品帳簿在庫と実地たな卸数量が一致していることを確認いただきました。

(4) 災害訓練を実施

3月20日(火)に3月期の水道事業所災害訓練を実施しました。水道事業所では有事に備え毎月災害訓練を行っており、今回は登米総合支所での給水拠点設置訓練と併せて実施したものです。給水タンクの組立から給水までの一連の作業を正確かつ迅速に行なえるよう参加者全員で声を掛け合いながら手順を確認し訓練に取り組みました。



訓練の様子

平成30年 3月期 業務実績報告書 (水道施設課)

一 般 事 項

経営分析の状況

◎配水量の状況

(単位: m³)

項 目	A 当月実績	B 実績累計	C 計画累計	D 前年累計	E 比 較	
					対計画 B-C	対前年度 B-D
総取水量	833,653	9,901,624	9,777,270	9,928,540	124,354	-26,916
総配水量	774,924	9,223,266	9,223,940	9,448,520	-674	-225,254
1 有効水量	681,230	8,520,956	8,512,440	8,526,631	8,516	-5,675
(1)有収水量	618,543	7,873,026	7,914,100	7,880,114	-41,074	-7,088
(2)無収水量	62,687	647,930	598,340	646,517	49,590	1,413
2 無効水量	93,694	702,310	711,500	921,889	-9,190	-219,579
(1)漏水量	92,009	605,309	704,000	914,051	-98,691	-308,742
(2)その他無効水量	1,685	97,001	7,500	7,838	89,501	89,163
3 有収率	79.82%	85.36%	85.80%	83.40%	-0.44	1.96

※当月期の最大配水量は、3日(土)に記録した【25,847m³】です。

◎主要な建設改良事業の状況

(単位: 件・千円)

主要な建設改良事業等の状況	予 算 額 (A)		施 工 中 額 (B)		竣 工 額 (C)		残 額 (D)=A-(B+C)	
	件数	金 額	件数	金 額	件数	金 額	金 額	率%
ア 取水施設整備事業	4	573,279	2	253,902	2	309,681	9,696	98.3%
イ 導水施設整備事業	1	17,820	0	0	1	17,794	26	99.9%
ウ 浄水施設整備事業	9	173,018	0	0	9	172,162	856	99.5%
エ 送水管整備事業	1	58,000	0	0	1	57,998	2	100.0%
オ 配給水施設整備事業	60	672,933	5	49,831	55	574,901	48,201	92.8%

*注1 件数及び金額は工事+委託(事務費・人権費含む)の合計です。

◎毎日検査 ※おいしい水の目安 遊離残留塩素0.4mg/L以下

	保呂羽浄水場 F1遊離残留塩素	保呂羽浄水場水系 (測定戸数: 7)	東和町水系 (測定戸数: 9)	石越町水系 (測定戸数: 1)	大萱沢浄水場水系 (測定戸数: 2)
平均	0.55	0.42	0.47	0.56	0.50
最低	0.51	0.30	0.20	0.50	0.35
最高	0.59	0.70	0.60	0.60	0.55

◎登米水道の放射性物質測定結果

採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)		採取地点	採取年月日	核種濃度(Bq/Kg)	
		セシウム134	セシウム137			セシウム134	セシウム137
保呂羽浄水場	H30.3.13	<0.9	<0.9	米谷水系浄水場	—	—	—
石越浄水場	H30.3.12	<0.8	<0.9	楼台水系浄水場	—	—	—
大萱沢浄水場	H30.3.13	<0.6	<0.7	合の木浄水場	—	—	—
米川水系浄水場	—	—	—	大綱木浄水場	—	—	—
錦織水系浄水場	H30.3.13	<0.8	<0.9	—	—	—	—

特 記 事 項

1 包括的委託業務外部評価を実施

3月26日(月)27日(火)の2日間にわたり、登米市水道事業浄水施設等管理運転業務(受託者:明電舎・アイ・ケー・エス共同企業体)と登米市水道事業配水施設等維持管理業務(登米市管工事業協同組合・フジ地中情報(株)共同企業体)について外部評価を実施しました。

評価は、委託仕様書に基づき業務実施状況について行い、良好と認められました。評価項目に対する意見として、「浄水施設等管理運転業務」では、「水質管理業務の緊急体制」他2項目、「配水施設等維持管理業務」では、「災害時及び緊急時対策等の危機管理体制」他4項目について追加または拡充されるよう指導、助言を頂きました。

2 水道2947号線漏水修理

3月16日(金)登米町日野渡薬師崎地内にて、水道2947号線の漏水修理を実施しました。これは、市民からの通報により発見したもので空気弁からの漏水でした。

修理は不排水工法で試みましたが、作業中、漏水量が増加したため工法を変更し、水道1号線のバルブを閉めて修理を行いました。基幹管路である水道1号線を止水しましたが、水道2号線と結ぶ緊急時用連絡管の効用により断水することなく無事修理を終えました。

今回の作業の中で確認した問題点等を整理し、有事の際、更に迅速対応できるよう検証いたします。



「漏水状況」



「修理状況」



「修理完了」

3 下り松取水塔内のポンプ場新設ポンプ(4台)設置完了

3月22日(木)下り松ポンプ場にて国土交通省東北地方整備局による、下り松ポンプ場機械電気設備工事の水利使用に係る工作物の一部使用検査を受検しました。

この検査は、新しく設置した1号取水ポンプと2号取水ポンプの仕様及び構造等について検査を受けたものです。結果は合格で承認されました。なお、3号取水ポンプと4号取水ポンプは2月21日(水)同検査を受検して合格承認済みです。このことにより、取水ポンプ4台全てが稼働可能となり、4月1日(日)の運用開始に向けて各種調整を行います。

4 平成30年3月の漏水調査結果について

3月末の漏水調査の結果、85件128.328m³/h(累計)の漏水を発見しました。平成29年度は計画有収率85.8%を目標に調査を実施しましたが、達成することが出来ませんでした。平成30年度は計画有収率86.1%を達成できるよう漏水対策を実施します。

5 地震発生状況

平成29年9月27日(水)以来、登米市内における震度4以上の地震は発生していません。

漏水調査結果	施設	件数	漏水量(m ³ /h)
	配水管	40	67.32
	付属施設	2	0.020
	給水管	43	60.988
計	85	128.328	